



神奈川県

KANAGAWA

元気子ども・若者の地域活動情報誌

子ども会

第58号
神奈川県立青少年センター
神奈川県子ども会連絡協議会



県内初開催！

- ▶ 神奈川県子ども会コミュニティゲーム大会
- 関東甲信越静地区ジュニアリーダーズ研修会
- 子どもフェスティバル・子ども会大会
- 子ども会永年功労表彰

子ども会コミュニティゲーム大会 初開催！



10月26日(土)横浜市青少年育成センターにて
「神奈川県子ども会コミュニティゲーム大会」を開催しました。
子ども会としてesportsを行ったのは今回が初めてです！
県内から小学生が集まり、大盛況でした♪
その様子を県内のユース・リーダーたちが取材しました。



米山 耕平 (横浜市ユース・リーダー)

's REPORT

コミュニティゲーム大会とは

10月26日(土)開催の子ども会コミュニティゲーム大会は、esportsという新しい題材を用いて子ども会の魅力を伝える、広報の一環として企画されました。競技は『大乱闘スマッシュブラザーズ』。格闘で相手をステージから弾き出す対戦ゲームです。



どんなルール？

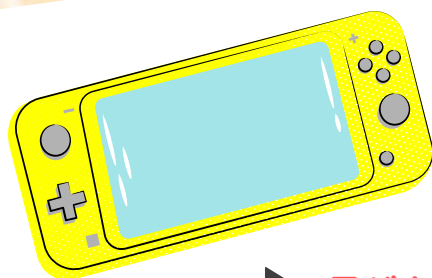
まず、子どもたち4人ずつが一度に対戦し、2回弾き出されてしまうと脱落となる2ストック制というルールを採用しました。子どもたちは日頃から遊び慣れているためか、序盤から手に汗握る対戦となりました。私も一度だけ加わりましたがあえなく脱落。年上の私でも子どもたちの練度の高さにかないません。通常のスポーツであれば年齢や体格は覆すことができませんが、esportsはそういった差に関係なく対戦できることが大きなメリットの1つといえます。

esportsのよいところ

次に2チームに分かれてのチーム戦を行いました。会ったばかりでチームプレイできるか少し心配でしたが、すぐに仲良くチームを組むことができ、とても素敵だと思いました。中でも個人的に印象深かったチームワークは、仲間が脱落してしまった際に自分のストックを受け渡して、仲間を復活させるプレーでした。こういったプレーもこのゲームならではの遊び方だと思いました。

最後は子どもたち全員対戦。4人でも目まぐるしい戦いでしたが、7人が対戦するとなるとまさに大混戦の激闘となりました。そんな戦いのさなかでも終始楽しそうに遊び、たとえ自分が脱落してしまった後でも他の人の応援にまわるといった、ある種のスポーツマンシップを感じることができました。





▶ 子どもたち

▶ 保護者の方



小林 彩 (県ユース・リーダー)

's INTERVIEW

ー今回参加したきっかけは？

子ども会のチラシを見て、
やりたい！と思いました。

ー子ども会で行っている活動はありますか？

コロナ禍で活動が停滞し、子ども会として参加した
イベントは初めてです。

ーゲーム大会はどうだった？

楽しかった！面白くて最高でした！

ー子ども会コミュニティゲーム大会はどうでしたか？

初めて会う子たちばかりの中、自然とお互いを応援する
姿があり、今の子たちにとって大きなコミュニケーショ
ンツールの一つなのと感じました。

ー好きなキャラクターは？

デデデ大王！カービィ！ガオガエン！

子どもに馴染みのあるゲームはいいアイデアだと思いま
した。ルールを理解しトーナメント形式や総当たり戦に
してみるやり方で、場所と時間が合えば自分の子ども会
でもできそうだと思います。

ーありがとうございました 😊



司会の風景

司会を担当しました、横浜市ユース・リーダーのさっし〜です。神奈川県で初の試みというesports大会、どんなものになるのだろうと私もワクワクしていました。実際にやってみると、神奈川県各地から来た初めましての人どうしても、ゲームを通してすごく盛り上がっていました！普段会わない子どもたちでも、共通してできることがあるとこんなに熱くなれるんだ！と司会をやっていて感じました。

esportsだからこそ

esportsは身体の大きさや足の速さではなく、ゲームスキルと熱量で戦うことができます。現在は家庭にゲーム機も広く普及していて、通信環境や大きなディスプレイがあれば、幅広い年齢層で、色々な状況の人が一斉に楽しめます。そう考えると子どもゲーム大会でesportsをやったことは、色々な可能性を秘めているのではないかな？ゲーム環境を整えることで、もっと面白くなるのではないかな？楽しそう

にゲームをしている子どもたちの横顔を見ながら、そんなことを考えました。

私自身はesportsやゲームの経験はあまりないのですが、それでも観ているだけで自然と「このプレイ、すごいな」と分かってきて、自分でも驚きました。観ていても楽しいから、気づかないうちにやり方を覚えてしまうし、みんなとの交流が生まれる。これもesportsの醍醐味の一つと言えると思います。またプレイヤーはもちろん、観戦者もこんなに楽しめるんだとしみじみ思いました。

esportsならディスプレイや通信で、色々な人が観戦できます。垣根なく、多くの人を楽しんで感動を分かちあえる。参加者にはその良さを少しでも持ち帰っていただけたなら幸いです。

今後も前向きに

通信環境の整備や細かいルールなど、まだまだ課題はたくさんあるとは思いますが。ただこれからも、子どもたちがもっと楽しめる企画ができるよう努めていきたいと思っています。



TOPICS 関東甲信越静地区 ジュニア・リーダー研修会に 参加しました



8月17日(土)～19日(月)の3日間、
長野県佐久市にある「望月少年自然の家」
で今年度の大会が開催され、
神奈川県からはJL2名、YL3名、
指導者4名が参加しました。

次は神奈川県での開催です。
令和7年8月9日(土)～11日(月)、多くの
ジュニアリーダーの参加をお待ちしてお
ります。

厚木市ジュニアリーダーズクラブ
佐藤 まるみ



今回初めて他県との交流会に参加してみて、
自分の県や市のルールやゲームの違いに触れて良い体験ができました。

1日目の野外炊事活動では作り方をみんなで見ながら美味しく五平餅とす
いとんを作ることができました。2日目は、ウォークラリーや地図作成
ゲームをしました。地図作成ゲームではみんなの持っている言葉を繋げ
て意見を出し合い、正しい地図を作る事ができました。この3日間で厚木
市とは違うことをたくさん学ぶことができたので市で広げていきたいと
思います。



厚木市ジュニアリーダーズクラブ
小松田 美羽

知っているゲームでもやり方に違いがあったり、他県のジュニアリーダー達と交流することで気づくこ
とがたくさんありました。苦手だった地図作成ゲームでは、今までで一番いい結果だったので我ながら
進歩したなと思いました。

次は情報カードに書かれていることをそのまま読むのではなく、自分の言葉で簡単に分かりやすく読み
上げられるといいなと思います。

小学生や中学生と一緒にやるとき、カードには少し難しく書かれているので、簡単にしてあげると理解
しやすいと感じたからです。積極的に話し合いに参加できたので良かったし、メモも自主的にとれました。

いつもはリーダーとして活動していますが、今回は参加者の立場だったので、研修の運営の方法につい
ても客観的に見ることができ、良いところ、もっと工夫できるな、と思うところなど改めて色々な気づ
きがありました。これからの自分の活動に活かしていきたいと思います。

▶ 子どもフェスティバル・子ども会大会 大盛況!!

山本 啓人 (県ユース・リーダー)



令和7年1月19日(日)、神奈川県立青少年センターで「子どもフェスティバル・子ども会大会」を開催しました！
今年はなんと2,891人の来場者が集まる大賑わい！

やぎやアヒル、ポニーなどの動物と触れ合えたり、ミニ消防車と消防服で写真が撮れたり、ほかにもおいしい食販団体や楽しく遊べるブースがたくさん出展されました。

子ども会もホールで活動発表を行ったり、工作しながら自然体験ができるブースを運営したりと大活躍！来場者は「幅広い内容の体験ができて楽しかった」と話していました！

たくさんの子どもの笑顔を見ることができました😊



▶ 子ども会永年功労表彰 -令和6年度- 🏆

(敬称略)

神奈川県子ども会連絡協議会永年功労表彰

公益社団法人 全国子ども会連合会表彰

川崎市 荒木 一夫
藤沢市 原田 康子・越智 明美
大和市 小塚 美穂
綾瀬市 大平 滋
小田原市 野谷 千秋
(一社)神奈川県子ども会連合会 原 洋子

川崎市 大森 勝司・鶴沢 正司
綾瀬市 清水 ひとみ
(一社)神奈川県子ども会連合会 原 洋子

おめでとうございます♪

編集後記

今年度、初めて「esports大会」を開催いたしました。
「esports」は子ども達に大変人気です。子ども達は家庭でゲームを楽しんでいますので、ゲームを通して交流が生まれ、観戦者も楽しむことができ、感動が生まれました。今後の広がりを期待しております。発刊に際し協力いただきました皆様に感謝いたします。

広報誌は、神奈川県立青少年センターのご協力により発刊いたしました。

広報誌担当委員長 片岡喜久江

発行：令和7年3月1日
企画：神奈川県立青少年センター
編集：神奈川県子ども会連合会
横浜市子ども会連絡協議会
川崎市子ども会連盟